

令和3年4月1日現在

| | | | | | |
|-------------------------|---------|----|--------|----|--|
| 教授 | 村中 菜摘 | | | | |
| 所属 | 国際文化 学科 | 学位 | 博士（文学） | 資格 | |
| 賞 罰：第13回解釈学会賞（令和元年） | | | | | |
| 所属学会：解釈学会、和漢比較文学会、和歌文学会 | | | | | |

| 現在の担当科目 | |
|---------|------|
| 日本語表現法Ⅰ | 教養演習 |
| 日本語表現法Ⅱ | 専門演習 |
| 日本文化論 | 卒業研究 |
| 日本文学論 | |
| 比較文学論 | |
| 過去の担当科目 | |
| 上記に同じ | |
| | |
| | |

| 研究業績 | | | |
|--|-----------|-----------------------|------------|
| 著書、学術論文等の名称 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 著者、製作者、発表者 |
| (学術論文) 1. 定家の「むめの花」詠における『伊勢物語』撰取の方法 | 平成11年2月 | 「清心語文」 創刊号 p.21-30 | 村中 菜摘 |
| 2. 定家の貧の意識と『蒙求』—「原憲桑枢」との関わり— | 平成15年8月 | 「清心語文」 第5号 p.73-85 | 村中 菜摘 |

| | | | |
|---|-----------------|--|-------|
| 3. 藤原定家の歌における『蒙求』撰取 (博士学位論文) | 平成 16 年 3 月 | ノートルダム清心女子大 学大学院 文学研究科 | 村中 菜摘 |
| 4. 『明月記』における「漁夫の誨」の記述 — 渡世術としての「屈原沢畔」・「漁夫江 濱」(『蒙求』) — | 平成 16 年 3 月 | 「ノートルダム清心女子 大学大学院 神部先生退職 記念論文集」 p. 164-174 | 村中 菜摘 |
| 5. 定家の「雪とのみ」の歌における『蒙 求』撰取— 神仙人志向と『誥汾興魏』— | 平成 16 年 4 月 | 「解釈」第 50 卷 第 3.4 号 p. 41-46 | 村中 菜摘 |
| 6. 定家の「まどごしに」の歌における 「孫康映雪」(『蒙求』) 撰取 — 窓の素材を中心に— | 平成 17 年 3 月 | 「ノートルダム清心女子 大学大学院 赤羽叔先生退 職記念論文集」 p. 238-246 | 村中 菜摘 |
| 7. 定家の歌における「子猷尋載」 (『蒙求』) 撰取 | 平成 17 年 11 月 | 「ノートルダム清心女子 大学大学院 開設十周年記 念論文集」 p. 91-109 | 村中 菜摘 |
| 8. 定家の「三代をへて」の歌の解釈 — 「顔駟蹇剥」(『蒙求』) における不遇 意識をめぐって— | 平成 18 年 12 月 | 「解釈」第 60 卷 第 11. 12 号 p. 34-39 | 村中 菜摘 |
| 9. 定家の松の歌二首— 『和漢朗詠集』 「十八公榮霜後頭」撰取の方法— | 平成 21 年 4 月 | 「解釈」第 55 卷 第 3・4 号 p. 52-57 | 村中 菜摘 |
| 10. 「早卒露膽百首」における定家の苗代の 歌— 「管仲随馬」の故事撰取を通じて— | 平成 22 年 4 月 | 「解釈」第 56 卷 第 3・4 号 p. 12-16 | 村中 菜摘 |
| 11. 「韻歌百廿八首」における旅 — 物語世界から漢詩文世界へ— | 平成 23 年 4 月 | 「解釈」第 57 卷 第 3・4 号 p. 27-33 | 村中 菜摘 |
| 12. 「閑居百首」雑部における漢詩文撰取 | 平成 24 年 4 月 | 「解釈」第 58 卷 第 3・4 号 p. 35-42 | 村中 菜摘 |
| 13. 定家の菊の歌における『白氏文集』撰取 | 平成 25 年 10 月 | 「解釈」 第 59 卷 第 9・10 号 p. 10-18 | 村中 菜摘 |
| 14. 「二見浦百首」雑部「楊貴妃」・ 「王昭君」・「陵園妾」詠における 『唐物語』撰取 | 平成 26 年 4 月 | 「解釈」 第 60 卷 第 3・4 号 p. 48-55 | 村中 菜摘 |

| | | | |
|---|--------------|--|-------|
| 15. 「皇后宮大輔百首」における定家の撫子の歌—「牡丹芳」(『白氏文集』) 撮取— | 平成 27 年 10 月 | 「解釈」 第 61 卷 第 9・10 号 p. 27-35 | 村中 菜摘 |
| 16. 「正治初度百首」の定家の藤花詠における白詩「三月三十日題慈恩寺」撮取 | 平成 28 年 10 月 | 「解釈」 第 62 卷 第 9・10 号 p. 25-33 | 村中 菜摘 |
| 17. 定家「跡たえて」詠における漢詩文的発想—閑庭の青苔に散り敷く花の歌の系譜から— | 平成 30 年 4 月 | 「解釈」 第 64 卷 第 3・4 号 p. 49-57 | 村中 菜摘 |
| 18. 定家「夕まぐれ」詠における伝統と革新—風の表現および桐の素材を中心に— | 平成 31 年 4 月 | 「解釈」 第 65 卷 第 3・4 号 p. 34-43 | 村中 菜摘 |
| 19. 定家「花月百首」の「桜花」詠の背景—『源氏物語』撮取および歌題変遷との関連から— | 令和 2 年 4 月 | 「解釈」 第 66 卷 第 3・4 号 p. 43-52 | 村中 菜摘 |
| 20. 定家「あらしふく」詠における「あるじ」—『源氏物語』「須磨」巻および『白氏文集』・『菅家後集』撮取を中心に— | 令和 3 年 4 月 | 「解釈」 第 67 卷 第 3・4 号 p. 38-47 | 村中 菜摘 |
| (口頭発表) 1. 『松浦宮物語』と「高唐賦」 | 平成 12 年 6 月 | 第 2 回ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会岡山(ノートルダム清心女子大学) | 村中 菜摘 |
| 2. 『明月記』にみられる『蒙求』の記述—「原憲桑枢」を手がかりとして— | 平成 15 年 1 月 | 和漢比較文学会第 78 回東部例会東京(中央大学) | 村中 菜摘 |
| 3. 「閑居百首」雑部における漢詩文撮取の一特徴 | 平成 18 年 11 月 | 台湾日本語言文芸研究学会第 6 回定例学会台南(台湾・長栄大学) | 村中 菜摘 |
| 4. 『松浦宮物語』における「神女賦」(『文選』) 撮取—女性美の形容について— | 平成 21 年 3 月 | 台湾日語教育学会 2009 年「日本語文與日語教育」学術研討会中部大会台中(台湾・静宜大学) | 村中 菜摘 |
| 5. Cultural meaning of Japanese honorific("keigo"): implications from students' role-play at a women's college in Japan | 平成 26 年 5 月 | 日本文化人類学会 50 周年記念国際研究大会 IUAES2014 千葉(幕張メッセ) | 村中 菜摘 |

| | | | |
|--|-----------------|--|-------|
| (その他) 1. 『松浦宮物語』における「神女賦」摂取 試論—女性美の形容について— | 平成 21 年 12 月 | 台湾日語教育学会 2009 年度日語教学実践 報告集 p. 45-57 | 村中 菜摘 |
|--|-----------------|--|-------|

社会活動等

公開講座

- ・ 岐阜市立女子短期大学 平成 20 年度 公開講座
『源氏物語』を読む—女性の愛と生き方について—
JR 岐阜駅ハートフルスクエア G (平成 20 年 8 月 22 日、29 日)

- ・ 岐阜市立女子短期大学 平成 22 年度 公開講座
『源氏物語』入門—「桐壺」巻の世界を味わう—
ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 JR 岐阜駅サテライト教室 (平成 22 年 7 月 24 日、31 日)

- ・ 岐阜市立女子短期大学 平成 25 年度 公開講座
「もののけを信じる人、信じない人—『源氏物語』登場人物の内面描写にみる作者の科学的視点—」
JR 岐阜駅ハートフルスクエア G (平成 25 年 6 月 1 日)

- ・ 平成 30 岐阜市立女子短期大学公開講座 (文学)
「『新古今和歌集』の魅力」
ぎふメディアコスモスかんがえるスタジオ (平成 30 年 5 月 26 日)

研究費等受領歴

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|